

国際研究発信力強化プログラム

Intensive Program for International Research Output Training (IP-IROT)

募集要項

臨地教育・国際連携支援室

概要

京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科附属次世代型アジア・アフリカ教育研究センターに設置された、臨地教育・国際連携支援室（以下、支援室）では、ASAFAS 院生を対象とした「国際研究発信力強化プログラム」を実施する。本プログラムは、以下の 2 つのコースから構成されている。

- ① プレップサポート・コース...研究発表トレーニング支援
- ② リサーチ C&M (コラボ&マネジメントサポート)・コース...院生発案の国際共同研究、国際研究集会開催支援

1. プレップサポート・コース

本コースは、国際的な研究発信の基礎能力を、大学院在籍中に高めることを目指すトレーニング・コースである。本コースの参加者は、研究科正規科目として単位の取得ができる。コースは以下の 2 つに分かれており、それぞれ別個に応募することが可能である。

- (1) 英文研究計画書の作成トレーニング
- (2) 英語による研究発表トレーニング

(1) 英文研究計画書作成トレーニング

このコースでは、「研究計画書 (Research proposal)」を英文で作成するトレーニングを行い、作成に関する技術的なアドバイスと英文校閲の支援を行う。研究計画書は、調査地のカウンターパート機関へ提出する、資金獲得の申請書として提出する、指導教官への研究計画説明書として使用する、などが考えられる。なお、このコースに参加する 1・2 年時の学生は「研究発信トレーニング I」(科目コード：5131)の単位が取得できる。

(2) 英語による研究発表トレーニング

このコースでは、自らの研究を英語で発表するトレーニングを行う。国際学会で発表を予定している院生が予行演習をする機会にあてることも歓迎する。トレーニングでは、事前

に用意した発表資料（レジュメ、パワーポイント、発表原稿）について、発表技術のアドバイスと英文校閲の支援を行い、アジアとアフリカを専門とする外国人研究者をアドバイザーとして招待して発表会を行う。このコースに参加する 3 年次以上の学生は「研究発信トレーニングⅡ」（科目コード：5132）の単位を取得することができる。

（3）応募に関する情報

◆応募資格：

（1）英文研究計画書の作成トレーニングについては、（原則として）博士予備論文を提出前の ASAFAS 在学中の学生、（2）英語による研究発表トレーニングについては（原則として）博士予備論文を提出した（あるいは 3 年次編入の）ASAFAS 在学中の学生

※休学中の学生、研修員、研究員は応募資格なし。

※学振 DC 研究員、博士課程教育リーディングプログラムより奨励金・研究活動経費を受けている学生も応募できるが、応募多数の場合はそれ以外の学生を優先することがある。

◆募集人数：

（1）英文研究計画書の作成トレーニング：原則 10 名以内

（2）英語による研究発表トレーニング：5 名以内

◆応募方法：

所定の申請用紙を支援室ホームページからダウンロードし、申請書に必要事項を記入のうえ、shien-app@asafas.kyoto-u.ac.jp へメールで提出すること。件名を「国際研究発信力強化 P 申請・計画書トレーニング（申請者名）」あるいは「国際研究発信力強化 P 申請・研究発表トレーニング（申請者名）」とすること。

支援室 HP: <http://www.asafas.kyoto-u.ac.jp/jisedai/shien/>

◆応募締切：

5 月 29 日（水）正午（日本時間、厳守）

◆採択通知：

6 月上旬（メールで通知します）

◆採択後の予定：

- ・英文研究計画書、発表資料提出締切：6 月 28 日（金）正午（日本時間）
- ・提出した書類の英文校閲返却：7 月上旬
- ・最終版の英文研究計画書、発表資料提出締切：7 月 17 日（金）正午（日本時間）
- ・発表会・講習会：7 月 24 日（水）13 時から、於：総合研究 2 号館大会議室（AA447）

2. リサーチ C&M（コラボ&マネジメントサポート）・コース

現段階での募集はないが、予算が確定次第、改めてコース開催の通知をおこなう。